



やあ!



yaa!

URL:<http://tia21.or.jp/>

E-mail:tia@tia21.or.jp



▲企業見学のためバスで移動



▲企業の説明を熱心に聞く参加者たち



▲県内企業に就職した元留学生による体験談



▲工場見学後に記念撮影

「グローバル人材のための県内企業バスツアー」

9月8日（火）に「グローバル人材のための県内企業バスツアー」を初開催しました。参加したのは県内の大学、専門学校に留学している外国人留学生および海外経験のある日本人等13名。海外展開を視野にグローバル人材を採用している岩下食品株式会社（本社・栃木市）と株式会社板通（本社・足利市）の2企業を見学しました。板通では、会社概要の説明、県内の大学を卒業した元留学生による就職活動の体験談やアドバイス、現在の業務内容について話の後、事務所の見学も行いました。岩下食品では、担当者から事業説明を受け、工場見学を行いました。初めての工場見学に、熱心に説明を聞いていました。参加者からは「海外進出の県内企業があることを初めて知った。今後の就職活動に役立てたい」などの感想もあり、有意義な企業見学となりました。

2015年12月号

No.133

Winter

TIA トピックス

TIA インフォメーション

JICA 情報局

関東・東北豪雨時の外国人への支援活動

「宮っ子チャレンジ」がTIAで職場体験

青年海外協力隊事業50周年記念

「多文化ソーシャルワーカー養成セミナー」

(宇都宮市)

外国人住民の中には、複雑で深刻な悩みやトラブルに直面する場合があります、そのような外国人の立場を制度的、文化的に理解し支援することができるよう「多文化ソーシャルワーカー養成セミナー」を平成25年度から実施しています。今年度は、7月24日から8月28日まで毎週金曜日、全5回のセミナーをとちぎ国際交流センターで開催しました。参加者は、行政・教育・医療機関、外国人支援団体、通訳ボランティアなどさまざまな分野から18名でした。

セミナーでは、多文化ソーシャルワークの第一人者である石河久美子氏（日本福祉大学社会福祉学部教授）をはじめとする専門家12名が講師を務めました。講義やグループワークを通して、



ソーシャルワークの知識や方法の活用、外国人住民に係わる制度や事例など、支援活動を行っていく上で必要な知識や技術を学びました。

▲グループワークも取り入れた講義。講師の石河氏(中央)

「はじめての英会話2」&「はじめてのベトナム語」

(宇都宮市)

TIA外国語講座「はじめての英会話2」(全10回)を10月1日～12月10日の毎週木曜日に、「はじめてのベトナム語」(全10回)を10月24日～12月26日の毎週土曜日にとちぎ国際交流センターで開催しました。

「はじめての英会話2」は、今年度実施した「はじめての英会話1」の続編で、さまざま



▲毎回好評のマーク氏のレッスン

なトピックスを通じて会話の幅を広げました。講師はイギリス出身のマーク・マコーマック氏が担当しました。

「はじめてのベトナム語」は、フィン・ティ・ホン・イエン氏



▲丁寧な説明のイエン氏

講師に迎え、文字や発音等の基本を学ぶほか、ベトナムの文化や習慣を、写真を用いるなど毎回工夫を凝らし、わかりやすく紹介してもらいました。

「外国人のための防災教室」(宇都宮市)



▲避難所体験では、日本人と外国人が共同作業

災害時の備えや心構えについて学んだり、避難所の雰囲気を経験する防災教室を9月27日(土)に、とちぎ国際交流センターで実施しました。前回の宇都宮市での開催に続いて2回目となります。この日は宇都宮市など県内各地域に住む中国、ブラジル、マレーシアなどの外国人や日本人が参加しました。

講師の多文化共生マネージャー全国協議会事務局長のときひかる氏は、今年9月に発生した関東・東北豪雨の茨城県常総市での支援報告のほか、外国人が災害時に困ることや日頃からの外国人と日本人の交流の大切さについて話しました。

このほか、栃木県防災士会理事長の稲葉茂氏により、災害の基礎知識や三択クイズなどでわかりやすく防災について学びました。避難所体験では、非常食を受け取ったり、ブルーシートの上に座って、保温やけが防止のための新聞紙でのスリッパ作りなどを学びました。参加者からは「国籍に関係なく一緒に学んで良かった、勉強になった」との声を多くいただきました。

「定住外国人のための就職支援セミナー」

(那須塩原市)

栃木県内に住む外国人を対象に、今年度2回目の「定住外国人のための就職支援セミナー」を10月2日～10月30日の毎週金曜日



▲ホテルエピナール那須で職場見学

(全5回)、那須塩原市のいきいきふれあいセンターで開催し、那須塩原市や大田原市など県北に住む外国人の方が参加しました。セミナーでは、就職活動に役立つ履歴書の書き方や面接の受け方、職場でのマナーや会話を学ぶほか、介護施設、工場、レストラン、スーパーマーケット、国際業務などの関係者から業務内容の説明を受け、さまざまな職種の外国人からも仕事内容や体験談などを聞きました。



▲セミナーで職場のマナーも学んだ

また、飲食店、介護施設、ホテル、レジャー施設等で職場体験(見学)も行いました。参加者からは、「普段は客として訪れる場所を違った視点で見ることができ新鮮だった」と好評でした。

「グローバル人材のための合同企業説明会」 (宇都宮市)

10月8日(木)に栃木県総合文化センターで県内のグローバル企業12社が参加し、「グローバル人材のための合同企業説明会」を開催し



▲多くの参加者が企業のブースに並んだ

ました。これは、海外展開を目指す県内企業とグローバル人材と呼ばれる海外留学経験者、外国人留学生、国際協力ボランティア帰国者の方たちを対象に企業のグローバル人材の確保を支援する目的で実施したもので、57名が参加しました。



▲説明会後の企業と参加者の交流会

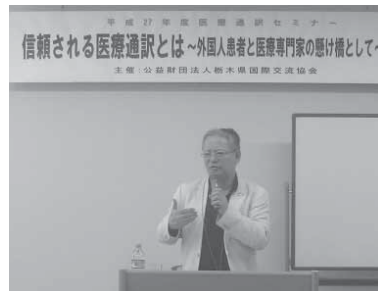
会場では、参加者が興味をもった企業のブースに行き、担当者から業務内容などの説明を聞きました。県内の大学や専門学校で学ぶ留学生は流暢な日本語で積極的に質問していました。日本人学生も多く参加し、自身の海外

経験をアピールする場面なども見られました。

合同企業説明会後は交流会も開かれ、企業担当者と参加者が説明会とは違った和やかな雰囲気です話をしていました。

医療通訳セミナー 「信頼される医療通訳とは」 ～外国人患者と医療専門家の懸け橋として～ (宇都宮市)

医療通訳について理解を深めることを目的としたセミナーを10月24日(土)にとちぎ国際交流センターで開催し33名が参加しました。



講師は、NPO法人多 ▲わかりやすい説明のアビー氏

言語社会リソースかながわ(MICかながわ)医療通訳スタッフのアビー・ニコラス・フリー氏。セミナー前半は、外国人患者の現状、医療通訳の際の注意点などについての講義のほか、医療通訳の経験者による事例発表や質疑応答がありました。後半のグループワークでは診療場面などを想定したロールプレイを行うなど医療通訳の流れを体験しました。

参加者からは、「初めて参加したが、楽しく学べ大変勉強に



▲患者、医師、通訳に分かれてロールプレイ

なった」、「事例紹介や通訳経験者の話に共感できるところがあり参考になった」等の感想をいただきました。

関東・東北豪雨 —TIAが行った外国人支援—

9月9日から11日にかけて、関東、東北地方での記録的な豪雨により、河川の氾濫や浸水、土砂災害が栃木県内でも発生しました。TIAでは、栃木県に住む外国人への情報提供として、「TIA携帯情報サービス(携帯メール)」により下記のとおり、日本語のほか、英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、やさしい日本語で、9月10日から12日にかけて計9回配信するとともに、ホームページ上にも掲載しました。

<携帯メールで配信した概要>

9月10日	栃木県に大雨・洪水警報が出ました
	市町からの避難指示に従ってください
	飲料水を確保してください(小山市)
	雨が弱まっても引き続き注意してください
	質問や心配事はTIAに電話してください
9月11日	本日の給水情報
	水害時の衛生対策に気をつけてください
9月12日	本日の給水情報
	支援物資の協力をお願いします

通常行っている相談窓口においては、断水や停電についての問合せが相次ぎました。

これと併行して、県内の市町国際交流協会等に電話、Eメールにより外国人の被害状況や支援の必要性の確認を行いました。

<茨城県への支援>

関東地域国際化協会連絡協議会と連携し、茨城県の避難所などでの外国人への情報提供のため、関東各県の国際交流協会が分担して翻訳を行いました。

また、茨城県常総市で外国人支援活動を行っていた(一財)ダイバーシティ研究所(代表理事・田村太郎氏)から、ブラジル人住民が多いことからポルトガル語相談員の派遣要請があり、9月27日(日)・28日(月)に本多エリザ相談員が外国人対象の相談会に協力しました。相談会では浸水による住宅被害の補償など正確な情報を求める外国人が列を作りました。

今後も関係機関と連携し、災害時の外国人支援を進めていきます。



▲不安を抱える外国人が相談に訪れた

「宮っ子チャレンジウィーク」TIA で職場体験

「宮っ子チャレンジウィーク」とは、宇都宮市立中学校2年生全員が勤労体験などを通して、社会体験活動を行うものです。TIAでも受け入れを行っており、「センター1階ラウンジの一角に専用デスク」を設置し、国際理解のための展示物作成や外国語講座や外国人対象のセミナーの補助を行ったり、TIAやJICAの事業を学びました。

宇都宮市立豊郷中学校(2年)

えぐちきょうこ きむらうみ ひろせまなみ
江口喬子 さん、木村羽海 さん、廣瀬麻奈実 さん
9月8日(火)～11日(金) *9月10日は大雨のため中止



▲さまざまな国の人に好きな言葉を書いてもらい展示

<感想>

江口さん 3日間楽しかったです。コミュニケーションをとるの

が苦手で、悔しい思いをすることもあったので、TIAでの経験を今後活かしたいです。

木村さん 時間が少ないと感じるくらい、あっという間に3日間が終わってしまいました。外国人向けの日本語教室を見学した時に、外国人の皆さんが温かく迎えてくれて嬉しかったです。日本語教育などにもっと興味がわいてきました。

廣瀬さん 仕事の厳しさや楽しさを体験できて勉強になりました。言葉(外国語)ができないと、うまく伝えられず、ジェスチャーでお願いしなくてはいけなくて大変でした。英語とか勉強したくないと思っていたけれど、中国語には興味が出ました。

宇都宮市立泉が丘中学校(2年)

ふかがわあいり
深川愛莉 さん 10月27日(火)～30日(金)



▲スタッフに世界遺産の説明を受ける

<感想>

深川さん 実際に外国に住んでいた人と話せて、いいところ、悪いところ両方が聞けてとても勉強になりました。青年海外協力隊にも興味を持ちました。

JICA 情報局

青年海外協力隊事業 50周年記念



1965年に青年海外協力隊の初代隊員がラオスに飛び立ってから2015年で50周年を迎えます。これまで全国で47,000を超える多くの方がボランティアとして活動してきました。栃木県からもこれまで累計678名がJICAボランティア事業に参加して頂いています。今回はその50周年記念関連イベントのご紹介です。

◎青年海外協力隊50周年記念パネル展

これまでの協力隊の歴史や歩みを紹介するパネル展をとちぎ国際交流センターにて12月中旬より平成28年1月末まで開催します。派遣中のボランティアの写真も展示します。みなさんぜひ見に来てください!

◎青年海外協力隊50周年記念映画『クロスロード』

本音でぶつかり合う青年海外協力隊たちを描いた爽快な感動作です!ぜひご覧ください。11月28日から全国で公開
宇都宮ひかり座での上映予定 2016/01/30(土)～2016/02/19(金)

今月のJICAボランティア

さかわ そう 佐川 想 さん(野木町出身)

パプアニューギニア派遣
職種:コミュニティ開発
小学校に配属され、保護者と子供たちの協力のもと、コミュニティの調査などを行なっています。日本とパプアニューギニアの懸け橋となれるよう精進します!



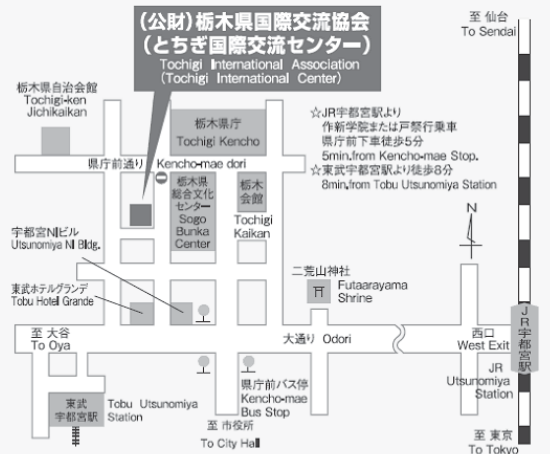
<TIA携帯情報サービスのご案内>

生活情報やイベント、防災について携帯メールで配信しているサービスです。ぜひ、お知り合いの外国人にもお知らせください!登録は無料です。



☆希望する言語のアドレスに空メールを送ってください☆
英語 tia21eng@b.bme.jp ポルトガル語 tia21por@b.bme.jp
中国 tia21chn@b.bme.jp スペイン語 tia21esp@b.bme.jp
日本語 tia21jpn@b.bme.jp やさい日本語 tia21ysn@b.bme.jp
★PCからも登録できます★

TIAご案内図



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会
住 所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
FAX 028-621-0951
業 務 時 間 8:30～17:15
休 館 日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日